復興支援事業を育成

北九州の力を全国へ

2012 九州経済最前線

2011年の北九州経済は東日本大震災によるサプライチェーンの寸断などから、製造業が事業運営で大きな影響を受けた。北九州地域では被災した企業があったものの、その後被災地復興を支援する動きが官民で広く展開された。12年も大手製造業の海外生産能力拡大や国内の事業所閉鎖表明など、経済環境は楽観できる状況にない。こうした中でも新たな商機を見いだそうと新分野の開拓やM&A（合併・買収）で事業を強化する動きが出始めている。

製造業、復旧に取り組み

日本銀行北九州支店がまとめた11年12月の企業短期経済観測調査（短観）は、全産業の業況判断景気動向指数（DI）が▲9。10年9月が▲5、12月も同じく▲5だったが11年3月はプラスに転じ、▲2に改善した。だが震災の影響により6、9、12月とマイナスが続く。特に製造業のマイナス幅が大きく、全体を押し下げている格好だ。

11年3月の震災は北九州の企業にも少なからず被害を与えた。フジコー（戸畑区）は仙台事業所（宮城県宮城野区）が津波で大きな被害を受けた。その後復旧作業に取り組み、12年2月に新しい事務所が完成した。またTOTOは子会社のTOTOファインセラミックス楢葉工場（福島県楢葉町）と、富岡工場（福島県富岡町）が東京電力福島第一原子力発電所の避難対象区域となり、工場内にすら入れない状況に陥った。

遊休機械を被災地へ無償提供

北九州では官民が被災地の復興を支援しようとさまざまな活動を展開した。北九州商工会議所は被災地のニーズに応じた支援を目的に「ものづくり絆プロジェクト」を行った。会員企業が技術者の派遣や産業機器の提供などの支援内容を登録し、被災地から支援依頼があれば無償で提供する仕組みだ。

活動の一環として11年12月、北九州、下関、直方の3商工会議所が、工作機械や溶接機など遊休設備119点を東北6県の商工会議所連合会に無償提供した。岩手、宮城、福島3県の工場が利用する。利島康司北九州商工会議所会頭は「生産再開に役立てばうれしい。今後は購買でも協力したい」とエールを送った。

ワールドインテックは震災発生直後から本社に災害対策本部を設置し、被災者や事業所が被災した事業者に対する支援活動を行った。さらに福島県から「がんばろう福島！絆づくり応援事業」を受託。12年3月まで避難所や仮設住宅などの運営体制の強化により、避難者同士の交流促進と避難所入居者らの雇用を創出を図る。

また雇用面で支援しようという動きが中小企業でも広がっている。アジア技研（小倉北区）は宮城県内の高校から2人を今春、採用する。被災地の復興に少しでも貢献したいと考えて採用を決めた。「採用活動のために宮城県内の学校を説明してまわった」（溝口純一社長）という。

北九州商工会議所などが東北へ遊休設備を提供

光触媒事業など新分野で成長

11年は国内で東日本大震災、タイでは大洪水が発生、円高の進展などもあり経済環境は厳しい状態が続いた。こうした中でも新たな分野への参入やM&Aなどで成長を目指す北九州の企業の動きも見られる。

フジコー（戸畑区）は壁掛け可能な光触媒方式の空気清浄機を3月下旬に発売する。同社の光触媒は主力事業の鉄鋼関連の技術を応用し、九州工業大学などと共同開発した。インフルエンザウイルスなどの殺菌機能があることを確認しており、飲食店や病院待合室などでの利用を想定している。価格は1台15万円。

同光触媒技術は、光触媒と抗菌金属を混合した素材を溶射し、基材に接合する。溶剤を使用しないため光触媒や抗菌金属が希釈されず、機能が高いとしている。産業医科大学の実証実験では、空気清浄機を8時間稼働後、インフルエンザウイルスの残存率は0・13%まで低下した。

九州工業大学は外部との連携で地域活性化を図る（山口FGと連携協定締結）

産学連携を推進 地域活性化へ

北九州市では大学と行政などが連携して新たな産業を育成しようとする動きも見られた。九州工業大学と北九州市、産業技術総合研究所（産総研）は連携・協力協定を結んだ。共同研究や人材交流などの推進により、地域経済の産業競争力強化と活力ある地域社会の形成につなげる。

連携内容は共同研究などの研究協力、研究交流および人材交流、教育・人材育成の相互支援、研究施設・設備の相互利用―の4項目。第一弾のテーマとして「環境エレクトロニクス」に関する共同研究を行う。ほかの事業に関しては連携協議会を設けて検討する。

九州工大は山口フィナンシャルグループ（FG）とも連携協定を締結。同FG傘下の北九州銀行（北九州市小倉北区）などの取引先との共同研究などを推進する計画だ。

北九州市も地場製造業の振興に向けて新たな事業を開始した。電気自動車（EV）などの部品生産への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」や、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）加工技術の習得を目指し「CFRP加工技術研究会」を立ち上げた。同勉強会では次世代自動車の開発動向などの情報を提供するほか、EVを解体し、モーターやインバーターなど搭載部品がどんなものか実習できる場とする。

またCFRP加工技術研究会は実際にCFRPを加工する場を設け、参加企業が体験するのが大きな特徴。CFRPは強度、剛性など機械的性質に優れる軽量素材として自動車や航空機などで採用が拡大しており、地場企業の新規参入を促す計画だ。

CFRPの加工を実体験

沖縄のバス事業強化

第一交通産業が取得した那覇バスターミナル

第一交通産業は1月、那覇バスターミナル（那覇市）の全株式をリッシ（東京都中央区）から取得した。バスターミナルは那覇市中心部の再開発事業計画区域に含まれているが、権利関係の複雑さなどから計画通りに進展していなかったという。今後は再開発の事業主体である旭橋都市開発（那覇市）と連携を取り、事業を推進する方針だ。

第一交通産業は沖縄県でタクシーやバス、オフィスビル事業などを手がける。沖縄県のバス事業への参入は04年。那覇交通（同）の営業権を取得し、同年那覇バスとして路線バス事業に参入した。その後、琉球バス交通（沖縄県豊見城市）も子会社化した。11年3月期のバス事業は売上高70億円、営業利益1億2000万円と、事業の柱の一つに位置づけている。今後はバスターミナルの再開発を推進し、沖縄県内での事業拡大を目指す。

“診る”を究めて

SHK 新日本非破壊検査株式会社

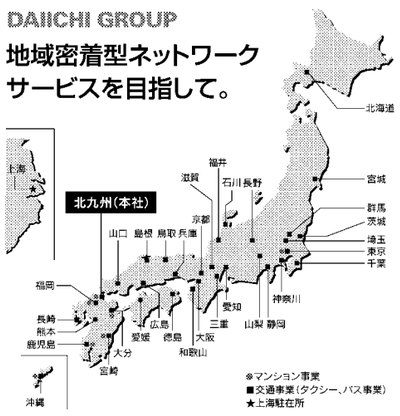
本社
〒803-8517　北九州市小倉北区井堀4-10-13
TEL:093(581)1235　FAX:093(571)5008
http://www.shk-k.co.jp　e-mail:eigyou@shk-k.co.jp

東京
〒108-0023　東京都港区芝浦3-20-6　芝浦MYビル4F
TEL:03(5443)8591　FAX:03(5443)8593
e-mail:tokyo@shk-k.co.jp

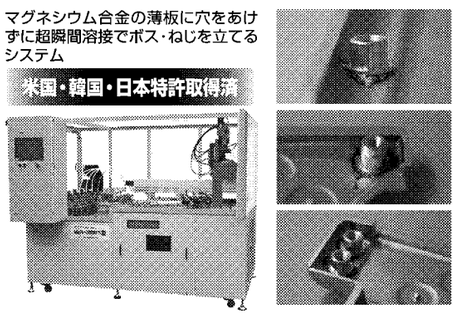
配管検査ロボット エルボマスター

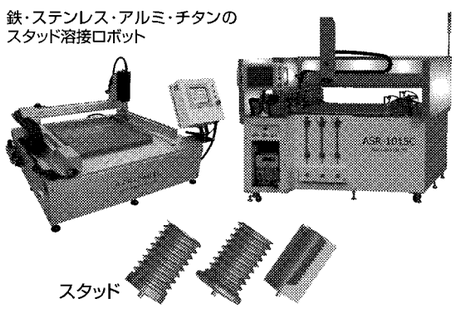
配管内を自在走行します。

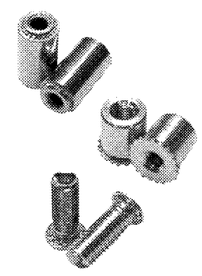
あなたの街で、あなたとともに。

タクシーを中心に広がる、さまざまな事業。
●タクシー事業　●バス事業　●不動産分譲事業　●不動産賃貸事業　●通信販売事業　●自動車整備事業
●ファイナンス事業　●パーキング事業　●介護サービス事業　●ゴルフ練習場　●ソフト開発事業　●情報通信事業 etc.
明日の快適生活環境を創造する
第一交通産業グループ DAIICHI
本社／〒802-0077　北九州市小倉北区馬借2丁目6番8号　TEL.093-511-8811
◎第一交通産業HP・・・・・http://www.daiichi-koutsu.co.jp/
DAIICHI GROUP
地域密着型ネットワークサービスを目指して。


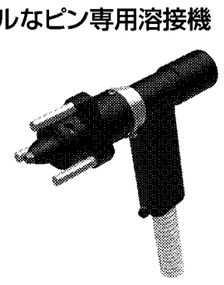
スチールからマグネシウム合金まで！
スタッド溶接システム&工業用ファスナー
スタッド溶接システム&工業用ファスナー総合メーカー
経済産業省 ものづくり日本大賞 優秀賞

マグネシウム合金スタッド溶接システム
マグネシウム合金の薄板に穴をあけずに超瞬間溶接でボス・ねじを立てるシステム
米国・韓国・日本特許取得済


スタッド溶接システム
鉄・ステンレス・アルミ・チタンのスタッド溶接ロボット


セルフクリンチングファスナー


AILS アジア技研 新登場！
インシュレーション・ロッキング・システム
超小型・超軽量・超速充電・パワフルなピン専用溶接機

CD-40P型

A-IPG型 標準ガン

CD-40P型仕様

型式		CD-40P型	備考
適合スタッド	呼び径	Φ2～Φ4(mm) M3・M4 F型	インシュレーションピン ねじ付CDスタッド
	長さ(mm)	30～175 5～175	A-IPGガン使用時 A-403ガン使用時
	スタッド材質	軟鋼・ステンレス鋼	
電源(単相)		100V AC±10% 11A 50／60Hz	200V仕様も特注にて対応
充電電圧(DC)		一定電圧	調整不要
充電時間(S)		1.8～2	超速
機体寸法(mm)		L330×W150×H218	小型
機体重量(kg)		5.4	超軽量

※CD-40P型との標準セットガンは、A-IPG型ガンとなります。

アジア技研株式会社
http://www.asiagiken.co.jp
E-mail : info@asiagiken.co.jp
本社工場　〒803-0801 北九州市小倉北区西港町72-39　TEL:093-562-0170　FAX:093-562-0250
東京営業所　〒142-0063 東京都品川区荏原2-1-8 1F　TEL:03-6421-6665　FAX:03-6421-6668
名古屋営業所　〒462-0810 名古屋市北区山田1-11-9 2F　TEL:052-910-0710　FAX:052-910-0711
阪神営業所　〒655-0032 神戸市垂水区星が丘1-2-30 2F　TEL:078-704-6557　FAX:078-704-6558
岡山営業所　〒700-0088 岡山市北区津島笹が瀬4-4 1F　TEL:086-250-7861　FAX:086-250-7862

つなげる力が創る未来
太陽光・風力・バイオマス・電池・光触媒・電力用半導体・緑化・水素発生・二酸化炭素の固定化技術。
優れた要素技術とそれらをつなぐシステム化技術が織り成す九工大の" グリーンテクノロジー"。
自然の中から育み、これからの持続可能な社会を支えます。
九工大には、未来につなげる人と技術があります。

＊グリーンキャンパスプロジェクト
写真の立方体は、学内の技術を集めた実験施設「グリーンキューブ」です。ここでは、自然の力を利用して、エネルギーを創り、省エネを行い、環境を保全する研究を、3年前から始めています。学内の太陽光発電による電力を、電気自動車に充電。九工大の3つのキャンパスを結ぶ定期便として活躍しています。
国立大学法人 九州工業大学
■工学部・大学院工学府（戸畑キャンパス）
■情報工学部・大学院情報工学府（飯塚キャンパス）
■大学院生命体工学研究科（若松キャンパス）
福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1
九工大　検索